

2020年4月1日

**“クリエイティビティ”と“ネットワーキング”でスタートアップに活力を！
電通九州が福岡発ドローンスタートアップ、sora:share（ソラシェア）を運営する
（株）トルビズオンのマーケティング支援を開始。**

株式会社電通九州（本社：福岡市、代表取締役社長：鈴木亨）は、「ドローンが通る空の交通整理」を進めるスタートアップ、株式会社トルビズオン（本社：福岡市、代表取締役社長：増本衛）に対し、本年4月1日からマーケティング領域での協業・支援を開始いたします。

電通九州は、昨年9月末に福岡市で開催されたクリエイティブとテクノロジーの祭典「明星和楽2019」の国内ピッチコンテストにおいて、トルビズオン社に「電通九州賞」を授与。以来、同社との交流と相互理解を深めてまいりました。

今後は電通九州「新規ビジネス開発室」（本年1月1日発足）の若手メンバーにクリエイティブプランナーを加えたチームが、クリエイティブ開発やブランディング、ネットワーキング力を活かしたマーケティングサポートを提供し、トルビズオン社の事業拡大を支援してまいります。

■トルビズオンが実現を目指す、「ドローンが自由に飛び回る社会」■

「土地所有者の所有権はその上下に及ぶ」という民法207条の制限により、無許可に他人の土地上空（高度約300メートルまで）でドローンを飛行させることは民法に規定される所有権の侵害にあたり、多くの法律の専門家は考えています。その結果、ドローンユーザーは飛行可能空域の確保に課題を感じており、日本全体としてのドローン普及の足かせにもなっています。

その課題を経済の力で解決しようと考え「空の利用権を売買する」という、新しいサービスsora:share（ソラシェア）をトルビズオンは開発しました。sora:shareで管理された空を結んでいくことにより、従来では困難だったドローン物流を実現することに取り組んでいます。

■電通九州のスタートアップ支援について■

電通九州は本年1月「新規ビジネス開発室」を発足いたしました。同室はこれまでの広告会社の事業ドメインであるマーケティング・コミュニケーション領域にとどまらず、新規事業開発や企業連携、スタートアップ支援などにチャレンジしてまいります。

九州には、地域から日本を変えようと、斬新なアイデアで事業を進めている魅力あるスタートアップが多数存在します。と同時に、専門領域以外での人的リソースやノウハウの不足から、自社の価値を世の中うまく伝えきれずにいるスタートアップも少なくありません。次世代が夢や希望をいただける九州の未来のために、電通九州も地域社会の一員として社会課題の解決に貢献してまいります。

NEWS RELEASE

【会社情報】

社名：株式会社電通九州

本社：福岡県福岡市中央区赤坂 1-16-10

代表取締役社長：鈴木亨

設立：1995年1月

事業内容：広告代理業、マーケティングソリューション

コーポレートサイト：<https://www.dentsu-kyu.co.jp/>

社名：株式会社トルビズオン

本社：福岡県福岡市中央区大名 2-4-22 新日本ビル 3階 OnRamp

代表取締役 CEO：増本衛

設立：2014年4月

事業内容：上空シェアリングサービス「sora:share（ソラシェア）」の開発・運営

コーポレートサイト：<https://www.truebizon.com/>

問い合わせ先：

㈱電通九州 新規ビジネス開発室 小野、森口、國生 E-mail makoto.kokusho@dkj.dentsu.co.jp

㈱トルビズオン 取締役 COO 清水淳史 E-mail a.shimizu@truebizon.com TEL 070-5640-6774